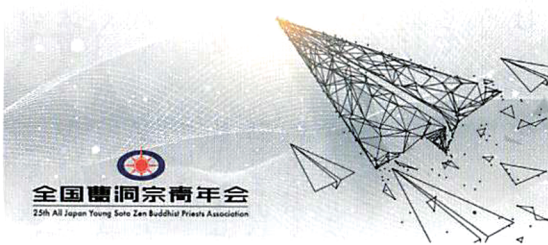




令和五年五月より全国曹洞宗青年会（以下、全曹青）第二十五期が開始いたしました。近年、コロナ禍により全曹青活動も制限を強いられた状況が続いておりますが、行動抑制の緩和、新型コロナウイルスが感染法上「五類」へ変更したこと等に伴い、全曹青の活動も参集行事を中心としたものに戻りつつあります。

この数年、行動制限の影響で参集行事が思うように開催できず、対面でのコミュニケーションや開催行事にまつわるノウハウや経験の蓄積が行われなかったことは痛恨の極みです。しかしこのような

### 結集：想いを結び合わせ、未来へ



状況下におかれても、出向者は鋭意工夫を重ね、オンラインやツ

## 第二十五期スタート スローガン『結集：想いを結び合わせ、未来へ』

第二十五期会長

田ノ口 太悟  
たのくち たいご

ルを用いた新たな事業に挑戦してまいりました。

第二十五期では、青年僧侶が布教化のために全国から集まり、お互いが高めあい切磋琢磨するという創立期の精神をより一層強く意識して、運営に努めたく存じます。一方で、コロナ禍で新たに得られた知見や手段である、オンラインでの行事開催や『全曹青公式YouTubeチャンネル』を利用した動画投稿などは、行動制限緩和後も有効な活動方法として今後も取り組んでまいります。

全曹青は昭和五十年に発会し、第二十五期で創立五十周年を迎え



熊本県球磨村での豪雨水害三回忌 花おくり供養の様子

ます。この記念すべき節目において、全曹青の歴史に深く敬意を表し、未来の青年僧侶の布教教化活動の可能性を高められるよう、創立理念である「大衆教化の接点を求めて」の精神に則って記念行事を開催してまいります。全曹青活

動を現在まで紡いで相承してくださった諸先輩方の想いを受け継ぎ、未来の青年僧侶と結び合わせることを目標にたく存じます。

また、第二十五期においては太祖瑩山紹瑾禪師七百回大遠忌法要が厳修されるといふ僥倖に恵まれます。全曹青は大本山總持寺・本山總持寺祖院・行政等による合同プロジェクト「禪と海 里づくり・交流促進プロジェクト」太祖瑩山紹瑾禪師七百回大遠忌に向けて」に参画しています。この勝縁に巡り会えることに会員一同感謝を申し上げます。瑩山禪師への報恩と宗門

興隆のため、全力を傾けて取り組みたく存じます。

現在、曹洞宗をめぐる社会状況は刻一刻と変わりつつあります。

都市部への人口集中と少子化等による人口減少の影響で社会の価値観の変化が進み、それに伴い先祖

供養や布教教化の方法は対応を余儀なくされております。他方、全曹青活動に取り組む中、個人の孤立化と情報過多の現代において因縁生起に支えられた自己のあり方を説くお釈迦様の御教えはこれまでも増して求められているとも感じます。その確信に立ち、全曹青会員一同邁進してまいります。何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

合掌



●執筆者プロフィール  
田ノ口太悟

全曹青第二十五期会長  
福岡県曹洞宗青年会所属